

一般会計 歳入		(単位:千円)		
区分	平成21年度		対前年度	
	決算額	構成比(%)	増減額	率(%)
町税	716,992	11.3	△32,920	△4.4
(町民税)	(327,376)	-	(△12,057)	-
(固定資産税)	(260,035)	-	(△15,220)	-
(軽自動車税)	(13,552)	-	(473)	-
(町たばこ税)	(73,076)	-	(△3,065)	-
(都市計画税)	(36,345)	-	(△2,567)	-
(入湯税)	(6,608)	-	(△484)	-
地方譲与税	68,835	1.1	△4,115	△5.6
利子割交付金	3,141	0.0	△467	△12.9
配当割交付金	592	0.0	△112	△15.9
株式等譲渡所得割交付金	259	0.0	△253	△49.4
地方消費税交付金	90,879	1.4	1,939	2.2
ゴルフ場利用税交付金	197	0.0	△359	△64.6
自動車取得税交付金	13,730	0.2	△4,395	△24.2
地方特例交付金	7,015	0.1	362	5.4
地方交付税	3,117,487	49.0	51,995	1.7
交通安全対策特別交付金	1,227	0.0	55	4.7
分担金及び負担金	3,452	0.1	△135	△3.8
使用料及び手数料	129,448	2.0	△649	△0.5
国庫支出金 ※補助金など	608,888	9.6	147,537	32.0
道支出金 ※補助金など	307,837	4.8	7,580	2.5
財産収入	24,399	0.4	△3,143	△11.4
寄附金	1,645	0.0	△4,250	△72.1
繰入金 ※貯金取崩し	50,398	0.8	△1,414	△2.7
繰越金	373,713	5.9	292,396	359.6
諸収入	335,370	5.3	94,415	39.2
町債 ※借金	508,849	8.0	80,318	18.7
合 計	6,364,353	100.0	624,385	10.9

一般会計 歳出		(単位:千円)		
区分	平成21年度		対前年度	
	決算額	構成比(%)	増減額	率(%)
議会費	47,942	0.8	△2,014	△4.0
総務費	609,209	9.8	300,528	97.4
民生費	733,621	11.7	△26,990	△3.5
衛生費	417,251	6.7	29,060	7.5
労働費	5,667	0.1	19	0.3
農林水産業費	264,219	4.2	△1,211	△0.5
商工費	156,407	2.5	33,775	27.5
土木費	830,999	13.3	20,300	2.5
消防費	271,202	4.3	△6,128	△2.2
教育費	926,033	14.8	618,131	200.8
災害復旧費	276	0.0	△92	△25.0
公債費 ※借金返済	1,025,028	16.4	△55,294	△5.1
諸支出金	964,659	15.4	△23,826	△2.4
予備費	0	0.0	0	0.0
合 計	6,252,513	100.0	886,258	16.5

平	成	21	年	度
羽	幌	町	の	
決	算	報	告	

平成21年度の各会計決算が監査委員の審査を経て各会計決算特別委員会で審議を終了、町議会9月定例会で認定されました。

一般会計の歳入総額は63億6,435万円、歳出総額は62億5,251万円で、差し引き1億1,184万円の黒字決算となっています。

厳しい羽幌町の財政状況

歳入のうち国から交付される「地方交付税」が約半分を占めています。

国の財政も依然厳しい状況となっていることから、この交付税が今後どのように変わっていくのか気を付けていかなければなりません。

歳出においても厳しい財政状況にあるため、これからも行財政改革を進め効率的で持続可能な財政にしていくことが必要となっています。



町の財産と貯金

公有財産	金額/面積
土地	1,529万㎡
建物	13万5千㎡
有価証券	4,148万円
出資による権利	1億5,094万円
債権	金額
水産加工協経営基盤整備資金貸付金	800万円
商業複合施設整備事業貸付金	3,276万円
合 計	4,076万円
基金(貯金)	金額
奨学基金	1,472万円
財政調整基金	6億1,449万円
減債基金	5億6,185万円
役場庁舎等整備基金	1億967万円
まちづくり事業基金	2億8,040万円
まちづくり応援基金	81万円
交通対策事業基金	1億7,682万円
天売島オロロン鳥保護基金	506万円
地域福祉基金	2億3,872万円
人づくり事業基金	4,586万円
介護保険給付費等準備基金	6,528万円
介護従事者待遇改善臨時特例基金	176万円
国民健康保険給付費支払準備基金	3億6,128万円
特別養護老人ホーム整備基金	2億6,700万円
合 計	27億4,372万円

町の借金

区分	現残高
道路・橋りょう・河川施設	2億6,656万円
港湾・漁港施設	26億5,857万円
学校教育施設	3億5,227万円
社会体育施設	5,240万円
公営住宅施設	10億6,749万円
老人福祉施設	1,187万円
水産業振興施設	8,027万円
農林業振興施設	3億6,106万円
公園施設	3,246万円
町有林・草地整備	2億3,770万円
消防施設	3,071万円
観光・レクリエーション施設	1,225万円
清掃運搬車整備	99万円
簡易水道施設	1億4,721万円
下水道施設	35億2,633万円
介護サービス施設	6億円
その他	21億2,368万円
合 計	115億6,182万円



特別会計

(単位:千円)

会計区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	1,165,286	1,163,213	2,073
老人保健医療	10,809	6,119	4,690
下水道事業	557,325	557,051	274
簡易水道事業	49,995	49,935	60
介護保険事業	1,473,381	1,454,957	18,424
後期高齢者医療	101,461	101,316	145
合 計	3,358,257	3,332,591	25,666

水道事業会計

(単位:千円)

収益的収入及び支出		決算額	対前年度増減額
収入	水道事業収益	244,121	1,640
	(営業収益)	241,890	107
	(営業外収益)	2,231	1,533
	(特別収益)	0	0
支出	水道事業費用	197,226	△5,463
	(営業費用)	159,124	△3,332
	(営業外費用)	38,102	△2,131
	(予備費)	0	0
資本的収入及び支出		決算額	対前年度増減額
収入	資本的収入	2,785	1,046
	(企業債)	0	0
	(補助金)	0	0
	(補償金)	2,785	1,046
支出	資本的支出	93,301	23,598
	(建設改良費)	13,940	4,260
	(企業債償還金)	79,361	19,338
	(国補助金償還金)	0	0

決算額は消費税差し引き後の額です。

収益的収支決算 利益 46,895千円

資本的収支額 収入不足額 90,516千円

資本的収支の不足額については、留保資金で補填しています。

平成21年度に実施した主な事業

区分	事業名	金額
議会費	議場音響設備改修(マイク設備更新)	503万円
総務費	役場庁舎屋上防水改修	1,451万円
衛生費	離島歯科診療設備更新(チェアユニットほか)	714万円
農林水産業費	農業機器購入補助	560万円
	畜産担い手育成総合整備事業(草地整備等)	622万円
	羽幌港漁船上架施設改修(レール拡幅・延長ほか)	3,362万円
商工費	サンセットプラザ改修(屋上防水ほか)	4,316万円
土木費	街路灯取替補修(36基)	2,219万円
	公営住宅建設事業(朝日団地2棟4戸)	6,777万円
	港湾整備(国直営)	1億4,047万円
	道路新設改良(道路488.31m・排水742.2m)	6,587万円
	雇用促進住宅購入	4,437万円
教育費	羽幌小学校プール改修	2,266万円
	羽幌小・中学校石油暖房機取替(90台)	2,506万円
	羽幌中学校耐震補強	2億3,960万円
	中央公民館改修(暖房設備・駐車場・屋上防水)	1億1,248万円
下水道事業特別会計	公共下水道事業(管渠布設ほか)	1億7,794万円



校舎にV字型の耐震用ブレースを取り付け、耐震化を図るとともに外壁改修も実施しました。



旧雇用促進住宅は購入後、町単独住宅として活用。名称も「栄町夕陽ヶ丘団地」に決定しました。

平成21年度の決算から町民のみなさん1人あたりの税金負担額と、世帯・個人に使われた金額を計算しました。

町民1人あたりの町税負担額

87,406円

(716,992千円÷8,203人)
昨年度と比べ2,211円の減

1世帯あたりに使われた額

1,607,743円

(6,252,513千円÷3,889世帯)
昨年度と比べ244,365円の増

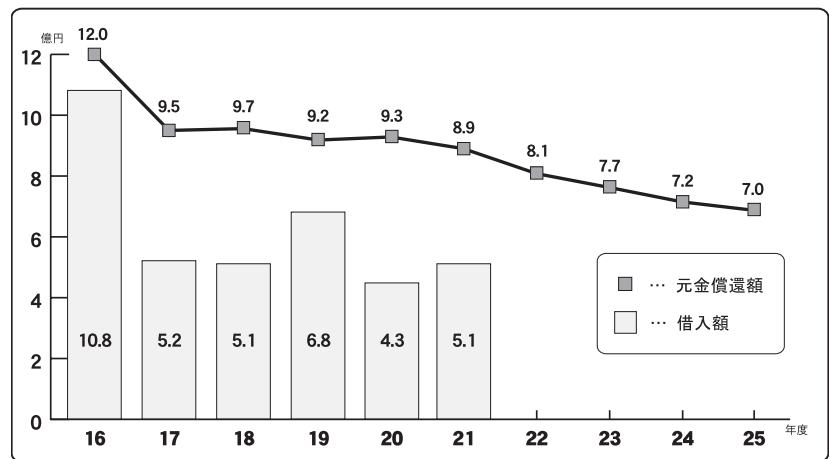
町民1人あたりに使われた額

762,223円

(6,252,513千円÷8,203人)
昨年度と比べ120,940円の増

人口・世帯数は平成22年3月末日現在

町債年度別借入額・償還額の推移(一般会計)



16年度～21年度は実績。22年度以降は21年度末残高に対する償還額。

要があります。

今後も引き続き、総合振興計画や自立プランに沿って計画的な事業を実施し、更に健全な財政運営を目指して取り組んでいく必要があります。

業も計画されており、借金が増えることも考えられます。

一般会計における借入額は棒グラフ、償還額は折れ線グラフのとおりですが、平成21年度の借入は港湾整備や公営住宅整備、学校施設整備等が主なものとなっております。償還額は、減少傾向にあります。今後において大きな事業も計画されており、借金が増えることも考えられます。

平成21年度に実施した主な事業は上表のとおりとなっております。このような大きな事業を実施する場合は、借金をすることがあります。